

上尾市学校施設更新計画 説明資料

令和4年6月

上尾市教育委員会
教育総務部 教育総務課
学校教育部 指導課

目次

1. 現状と課題
2. 現行の上尾市学校施設更新計画について
3. 国の考える公立学校教育の方向性
4. 上尾市での取組
5. 国の考える教育施設の方向性
6. 上尾市学校施設更新計画の見直しの方向性
7. 今後の見直しスケジュール

1. 現状と課題

1. 現状と課題

学校を取り巻く課題

(1) 児童生徒数

- 少子化の影響により児童生徒数が減少
- 区画整理の進行やUR団地の少子高齢化など地域差が生じている

(2) 学校施設

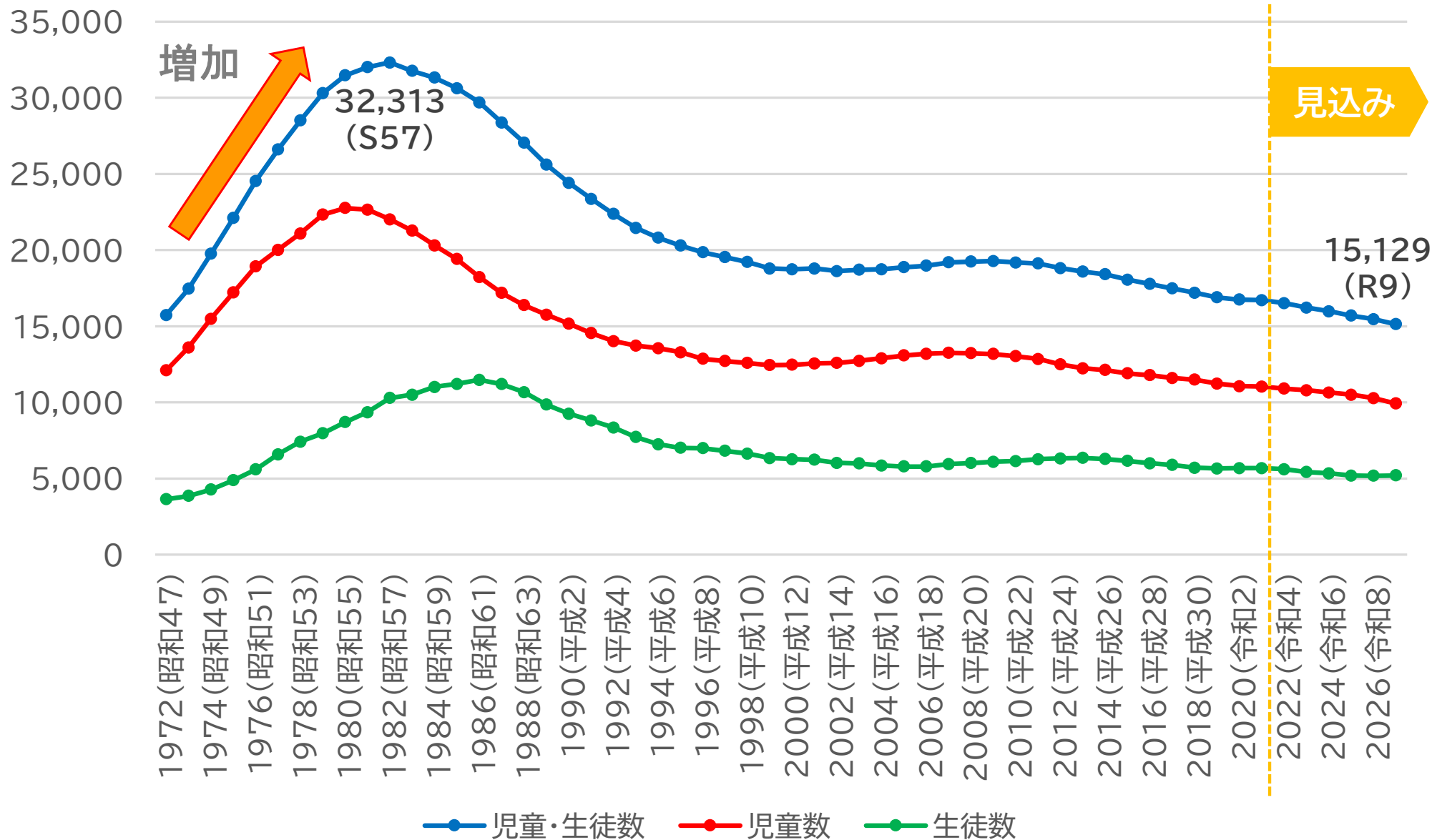
- 昭和40年～50年の人口増により学校施設を集中して整備
- その学校施設も築40年以上経過し、老朽化

(3) 学校教育

- GIGAスクール構想（1人1台のICT端末配布）
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（新たな教育方法）
- 働き方改革の推進、教員の人材不足

1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

- 1970年代は、児童生徒が急増



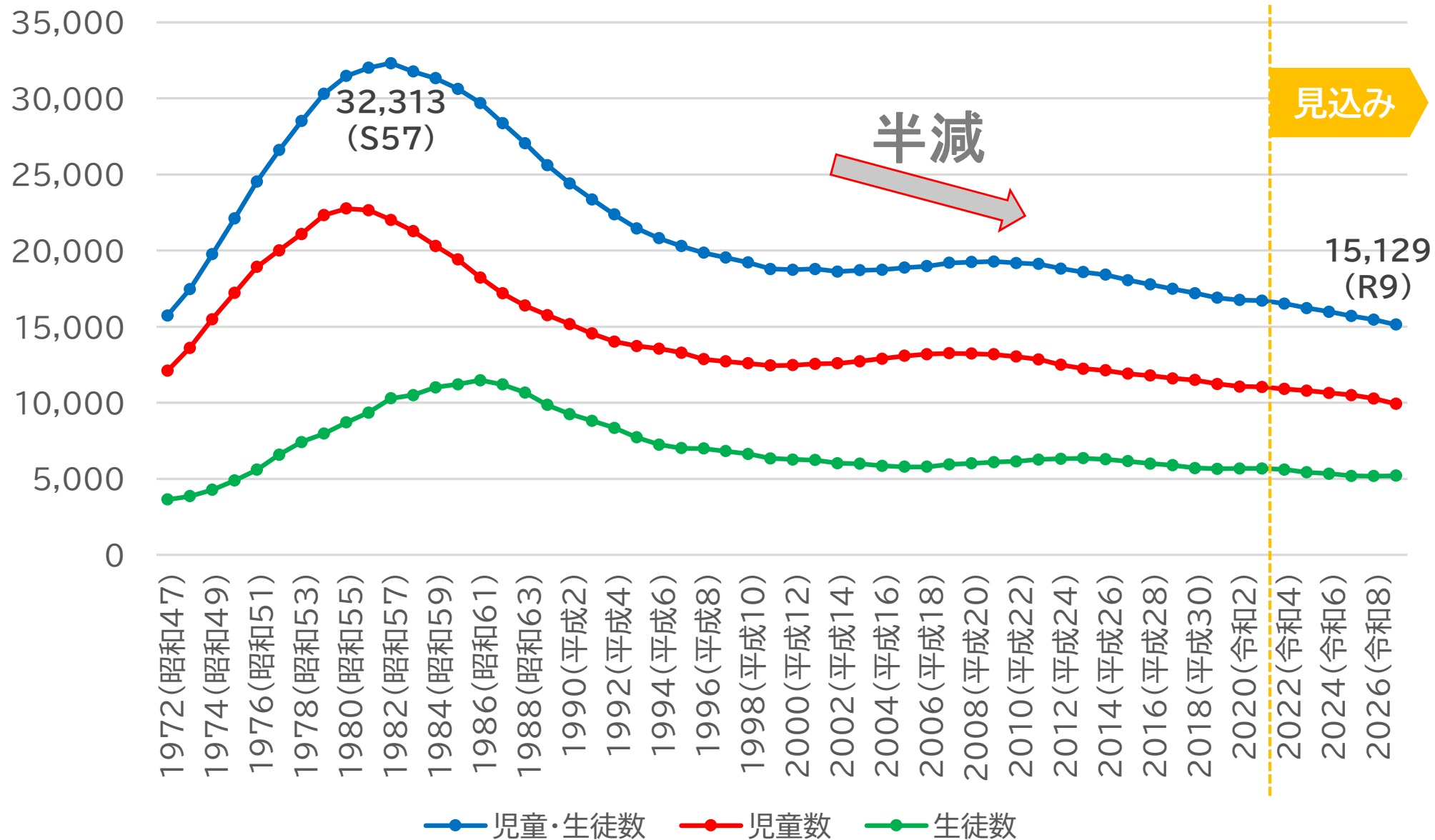
1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

尾山台団地



1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

- 2010年以降は、児童生徒数ともに、減少傾向で推移
- 令和9(2027)年には、ピーク時の半数以下まで減少する見込み



1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

令和4年5月1日時点 上尾市立小中学校の児童生徒数・学級数

■小学校児童数・学級数

No.	学校名	上段:児童数、下段:学級数							上段:児童数計 下段:学級数計※	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支		
1	上尾小学校	89 3	94 3	80 3	99 3	60 2	77 2	15 2	514 16(18)	
2	中央小学校	100 3	106 4	77 3	85 3	80 2	93 3	12 2	553 18(20)	
3	大谷小学校	95 3	103 3	104 3	105 3	131 4	122 4	15 3	675 20(23)	
4	平方小学校	41 2	50 2	38 2	34 1	55 2	48 2	7 2	273 11(13)	
5	大石小学校	136 4	160 5	150 5	137 4	146 4	161 5	11 3	901 27(30)	
6	原市小学校	97 3	94 3	96 3	90 3	110 3	111 3	14 2	612 18(20)	
7	上平小学校	84 3	78 3	80 3	69 2	85 3	68 2	9 2	473 16(18)	
8	富士見小学校	87 3	103 3	100 3	115 3	115 3	113 3	20 3	653 18(21)	
9	尾山台小学校	30 1	22 1	27 1	30 1	28 1	35 1	8 2	180 6(8)	
10	東小学校	127 4	135 4	137 4	117 3	134 4	134 4	29 5	813 23(28)	
11	大石南小学校	25 1	42 2	46 2	43 2	33 1	51 2	10 2	250 10(12)	

※1クラスの上限人数 1～3年:35人 4～6年:40人

※学級数計の()は特別支援学級を含む学級数

■中学校生徒数・学級数

No.	学校名	上段:生徒数、下段:学級数				上段:生徒数計 下段:学級数計※	
		1年	2年	3年	特支		
1	上尾中学校	214 6	268 7	246 7	18 4	746 20(24)	
2	太平中学校	89 3	99 3	111 3	11 2	310 9(11)	
3	大石中学校	290 8	311 8	295 8	6 2	902 24(26)	
4	原市中学校	176 5	175 5	196 5	17 3	564 15(18)	
5	上平中学校	172 5	184 5	171 5	4 2	531 15(17)	
6	西中学校	166 5	176 5	177 5	11 2	530 15(17)	
7	東中学校	236 6	197 5	223 6	14 2	670 17(19)	
8	大石南中学校	53 2	46 2	69 2	7 2	175 6(8)	
9	瓦葺中学校	125 4	116 3	121 4	— —	362 11(11)	
10	南中学校	153 5	129 4	175 5	— —	457 14(14)	
11	大谷中学校	111 3	105 3	143 4	8 2	367 10(12)	

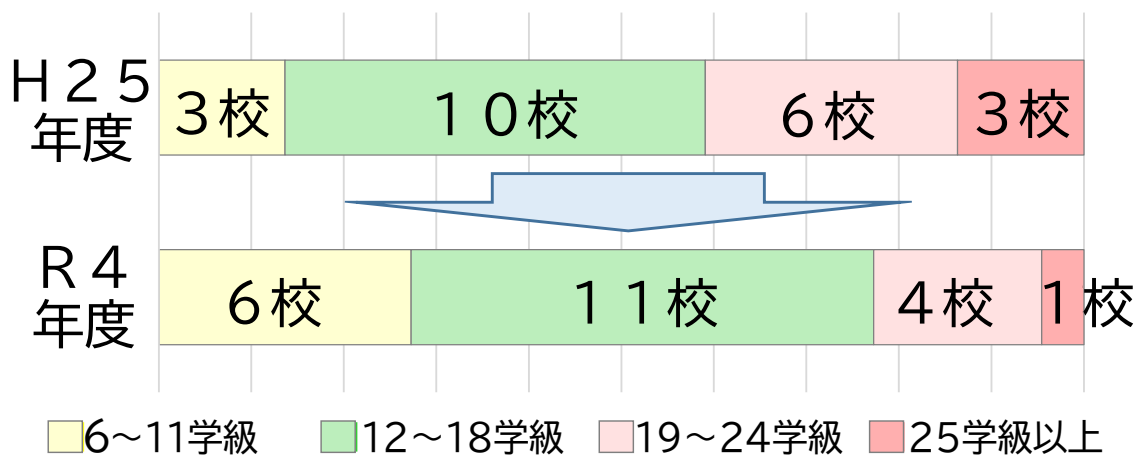
※1クラスの上限人数 40人

※学級数計の()は特別支援学級を含む学級数

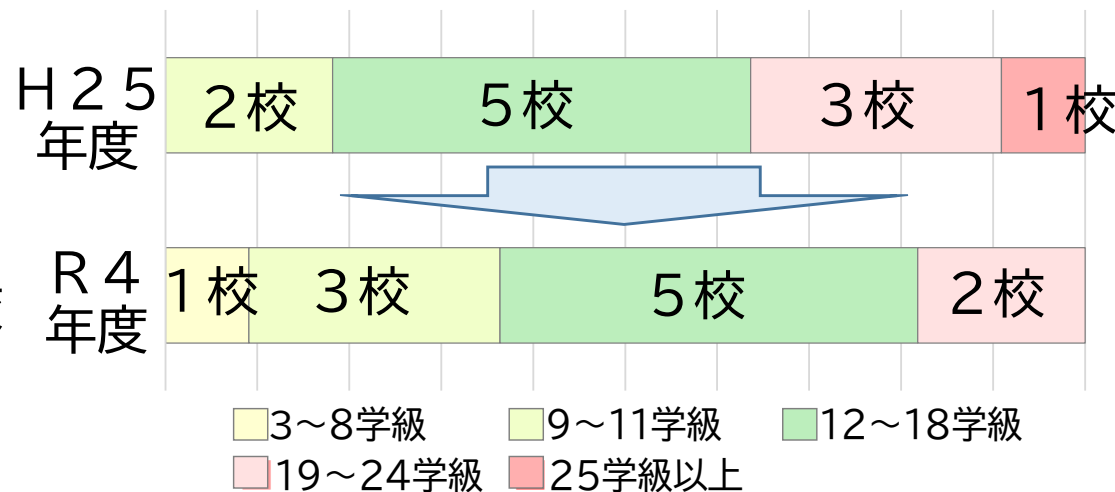
1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

- 11学級以下の小規模な学校から25学級以上の大規模な学校まで、様々な規模の学校が点在
- 小中学校ともに25学級以上の大規模な学校が減少、11学級以下の小規模な学校が増加

■小学校(規模別)※特別支援学級は除く



■中学校(規模別)※特別支援学級は除く



1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

■学校規模によるメリット

—学習面—	小規模化	大規模化
児童・生徒の一人ひとりに目が届きやすい	○	
きめ細かな指導が行いやすい	○	
個別の活動機会を設定しやすい	○	
多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて資質や能力をさらに伸ばしやすい		○
運動会などの学校行事の集団教育活動に活気が生じやすい		○
中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい		○
多様な学習・指導形態をとりやすい		○
部活動等の選択の幅が広がる		○
—生活面—	小規模化	大規模化
人間関係が深まりやすい	○	
異学年間の縦の交流が生まれやすい	○	
クラス替えができる(豊かな人間関係の構築、多様な集団の形成)		○
組織的な指導体制を組みやすい		○
—財政面・運営面—	小規模化	大規模化
全教職員間の意思疎通が図りやすい	○	
学校が一体となって活動しやすい	○	
施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい	○	
バランスのとれた教職員配置を行いやすい		○
子供一人あたりにかかる経費が小さい		○
清掃や管理が行き届きやすい		○
—その他—	小規模化	大規模化
保護者や地域社会との連携が図りやすい	○	
PTA活動等において保護者の負担を分散しやすい		○

○学校規模の適正化

学校では、子供たちが集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合う中で考える力や問題解決能力などを磨いていきます。

子供同士や教職員との人間関係を築く中で、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、社会性や規範意識などについて学んでいきます。

一定規模の集団生活の中で、**活気に満ちた学校生活**を送ることができる学校規模(学級数・教職員数)が必要

1. 現状と課題（（1）児童生徒数）

学校規模を適正化することで

1. 教育環境（人間関係、指導面）において

- 子供たちが多様な集団の中で社会性や豊かな人間関係を築くことができる。
- 様々なグループでの学習活動などが設定でき、個に応じたきめ細かな指導と集団の相互作用を生かした指導の両方が可能となる。 など

2. 教員配置において

- 学級担任以外の教員を多く配置することができる。また、中学校では全教科に専門の教員を配置することが可能となる。 など

3. 学校管理・運営において

- 教員同士が互いに助け合える体制が構築でき、校務分掌の運営など、教員の負担軽減となる。
- 教員の負担軽減により、教材研究など子供たちのために時間を費やすことが可能となる。 など

- 学校規模を適正化することで、教育環境や教員配置、学校管理面で子供や教員に様々なメリットが生じる。

1. 現状と課題（（2）学校施設）



尾山台小学校



原市南小学校



瓦葺小学校

1. 現状と課題（（2）学校施設）

番号	学校名	棟名称	校舎名称	建築年度	構造	階数	面積 (㎡)	診断	Is値	優先度 調査	耐震 性能	改修 年度
1	上尾小学校	1 普通・特別教室棟	北校舎	昭和43	RC	3	1,632			改修済	○	平成19
		2 普通・特別教室棟	南校舎	昭和46・48	RC	3	2,186			改修済	○	平成19
		3 管理棟	管理棟	昭和52	RC	1	746	2次	1.07		○	
		4 給食室棟	給食室	昭和48	RC	1	252			改修済	○	平成18
		5 屋内運動場棟		昭和45	RC	1	788			改修済	○	平成25
2	中央小学校	6 管理・普通教室棟	南校舎(西)	平成25	RC	4	4,396			新耐震建築物	○	
		7 普通教室・特別教室棟	北校舎	昭和41	RC	3	1,141			改修済	○	平成23
		8 管理・普通教室棟	南校舎(東)	昭和47	RC	3	1,057			改修済	○	平成25
		9 給食室棟	給食室	昭和59	RC	1	248			新耐震建築物	○	
		10 屋内運動場棟		昭和49	RC	1	524	1次	0.93		○	
3	大谷小学校	11 普通・特別教室棟	中校舎	昭和47	RC	3	1,748			改修済	○	平成24
		12 管理・普通・特別教室棟	南校舎	昭和53・55	RC	3	3,182			改修済	○	平成22
		13 普通教室棟	東校舎	平成14	S	1	213			新耐震建築物	○	
		14 屋内運動場棟		昭和51	RC	2	701	1次	0.81		○	
4	平方小学校	15 管理・普通・特別教室棟	南校舎	昭和44・46	RC	3	3,149			改修済	○	平成20
		16 普通・特別教室	北校舎	昭和52	RC	3	2,202			改修済	○	平成20
		17 屋内運動場棟		昭和51	RC	2	563	1次	0.82		○	
5	大石小学校	18 管理・特別・普通教室棟	南校舎	昭和44・46	RC	3	3,154			改修済	○	平成20
		19 管理・普通教室棟	北校舎	昭和46	RC	3	2,804			改修済	○	平成20
		20 給食室棟	給食室	平成11	RC	1	291			新耐震建築物	○	
		21 屋内運動場棟		昭和50	RC	2	687	2次	0.86		○	
6	原市小学校	22 普通・特別教室棟	南校舎	昭和47	RC	3	2,404			改修済	○	平成20
		23 普通・特別教室棟	北校舎	昭和46	RC	3	2,585			改修済	○	平成20
		24 給食室棟	給食室	昭和51	RC	1	306	2次	1.08		○	
		25 管理・普通・屋内運動場棟	管理棟	昭和51	RC	3	2,735			改修済	○	平成20
7	上平小学校	26 管理・普通・特別教室棟	南校舎	昭和54	RC	3	2,156	2次	0.75		○	
		27 普通・特別教室棟	北校舎	昭和40・43・47	RC	3	3,266			改修済	○	平成13
		28 給食室棟	給食室	昭和54	RC	1	425	1次	1.63		○	
		29 屋内運動場棟		昭和50	RC	1	687			改修済	○	平成24
8	富士見小学校	30 管理・普通・特別教室	南校舎	平成23	RC	2	3,251			新耐震建築物	○	
		31 普通・特別教室棟	北校舎	平成23	RC	4	4,960			新耐震建築物	○	
		32 特別教室棟	図書・メディア棟	平成23	S	2	752			新耐震建築物	○	
		33 屋内運動場棟	体育館・プール棟	平成23	SRC	4	1,446			新耐震建築物	○	
9	尾山台小学校	34 管理・普通・特別教室棟	北校舎	昭和41	RC	3	2,822			改修済	○	平成15
		35 普通・特別教室棟	南校舎	昭和44	RC	3	1,204			改修済	○	平成19
		36 屋内運動場棟		昭和49	RC	1	672	1次	0.90		○	
10	東小学校	37 管理・普通・特別教室棟	南校舎	昭和44・46	RC	3	3,633			改修済	○	平成25
		38 普通教室棟	北校舎	昭和49	RC	3	1,381			改修済	○	平成23
		39 屋内運動場棟		昭和50	RC	2	687			改修済	○	平成24

尾山台小学校は
H15・19年度に
耐震補強を実施

1. 現状と課題（（2）学校施設）

番号	学校名	棟名称	校舎名称	建築年度	構造	階数	面積 (㎡)	診断	Is値	優先度 調査	耐震 性能	改修 年度	
11	大石南小学校	40	普通・特別教室棟	南校舎	昭和48	RC	4	3,532		改修済	○	平成21	
		41	普通教室棟	北校舎	昭和48	RC	3	1,364		改修済	○	平成21	
		42	管理・特別・屋内運動場棟		昭和48	RC	3	2,115		改修済	○	平成23	
12	平方東小学校	43	管理・普通教室棟	南校舎(東)	昭和49	RC	3	2,207		改修済	○	平成10	
		44	特別・屋内運動場棟	南校舎(西)	昭和49	RC	2	1,482		改修済	○	平成10	
		45	普通教室棟	北校舎(東)	昭和50	RC	4	1,013		改修済	○	平成11	
		46	普通教室棟	北校舎(西)	昭和49	RC	4	2,064		改修済	○	平成11	
13	原市南小学校	47	管理・屋内運動場棟		昭和49	RC	3	1,701		改修済	○	平成14	
		48	普通・特別教室棟	校舎棟	昭和49	RC	4	3,695		改修済	○	平成14	
14	鴨川小学校	49	普通・特別教室棟	南校舎	昭和49	RC	4	3,240		改修済	○	平成18	
		50	管理・屋内運動場棟		昭和49	RC	2	1,287		改修済	○	平成18	
		51	普通教室棟	北校舎	昭和59	RC	2	580		新耐震建築物	○		
15	芝川小学校	52	普通教室棟	A棟	昭和50	RC	4	1,463		改修済	○	平成16	
		53	普通教室棟	B棟	昭和50	RC	4	2,050		改修済	○	平成16	
		54	管理・特別教室棟	C棟	昭和50	RC	3	1,128		改修済	○	平成17	
		55	普通教室棟	D棟	昭和50	RC	4	1,483		改修済	○	平成17	
16	瓦葺小学校	57	普通・特別教室棟	校舎棟	昭和50	RC	4	4,108		改修済	○	平成21	
		58	管理・屋内運動場棟		昭和50	RC	2	1,805		改修済	○	平成23	
17	今泉小学校	59	普通・特別教室棟	教室棟	昭和50	RC	4	3,275		改修済	○	平成20	
		60	管理・特別教室棟	管理棟	昭和50	RC	3	2,268		改修済	○	平成20	
		61	屋内運動場棟		昭和50	RC	2	687	2次	0.88		○	
18	西小学校	62	普通・特別教室棟	南校舎	昭和50	RC	4	3,405		改修済	○	平成22	
		63	普通・特別教室棟	管理棟	昭和50	RC	4	2,532		改修済	○	平成23	
		64	屋内運動場棟		昭和50	RC	1	905		改修済	○	平成24	
19	東町小学校	65	管理・普通・特別教室棟	西校舎	昭和51・55	RC	4	2,257		改修済	○	平成21	
		66	管理・普通・特別教室棟	東校舎	昭和51	RC	4	2,527		改修済	○	平成23	
		67	普通教室棟	南校舎	平成12	S	1	377		新耐震建築物	○		
		68	給食室棟	給食室	昭和51	RC	1	325	1次	1.43		○	
		69	屋内運動場棟		昭和51	RC	2	677	1次	0.80		○	
20	平方北小学校	70	管理・普通・特別教室棟	南校舎	昭和51	RC	3	2,797		改修済	○	平成22	
		71	普通教室棟	北校舎	昭和51	RC	4	3,546		改修済	○	平成24	
		72	屋内運動場棟		昭和51	RC	1	665	1次	1.02		○	
21	大石北小学校	73	管理・普通教室棟	管理棟	昭和53	RC	4	3,373		改修済	○	平成21	
		74	特別教室棟	特別教室棟	昭和53	RC	2	676	2次	1.22		○	
		75	普通・特別教室棟	西校舎	平成1	RC	4	1,493		新耐震建築物	○		
		76	普通教室棟	東校舎	平成10	S	1	373		新耐震建築物	○		
		77	給食室棟	給食室	昭和53	RC	1	321	1次	1.40		○	
		78	屋内運動場棟		昭和53	RC	2	680	1次	0.84		○	
22	上平北小学校	79	管理・普通・特別教室棟	校舎棟	昭和53	RC	4	3,567		改修済	○	平成22	
		80	給食室棟	給食室	昭和53	RC	1	325	2次	1.22		○	
		81	屋内運動場棟		昭和53	RC	1	537	1次	0.92		○	

原市南小学校は
H14年度
瓦葺小学校は
H21・23年度に
耐震補強を実施

1. 現状と課題（（2）学校施設）

番号	学校名	棟名称	校舎名称	建築年度	構造	階数	面積 (㎡)	診断	Is値	優先度 調査	耐震 性能	改修 年度
6	西中学校	35 管理・普通・特別教室棟	北校舎	昭和46	RC	4	2,884	改修済			○	平成12
			渡り廊下部分	昭和51	S	3	52	改修済			○	平成29
		36 普通教室棟	南校舎	昭和48・50	RC	3	1,961	3次	0.74		○	
		37 渡り廊下棟	渡り廊下	昭和49	RC	3	81	2次	0.76		○	平成15
		38 特別教室棟	金工・木工室	昭和46	S	1	243	改修済			○	平成24
		39 屋内運動場棟		昭和47	RC	1	762	改修済			○	平成25
		40 格技場棟	格技場	平成4	S	1	459	新耐震建築物			○	
7	東中学校	41 管理・普通教室棟	南校舎	昭和50	RC	4	3,667	改修済			○	平成22
		42 特別教室棟	東校舎	昭和50・55	RC	4	1,298	改修済			○	平成24
		43 特別教室棟	特別教室棟	昭和50	S	1	255	改修済			○	平成24
		44 普通教室棟	北校舎	昭和55	RC	4	1,689	改修済			○	平成24
		45 屋内運動場棟		昭和50	RC	2	812	2次	1.04		○	
		46 格技場棟	格技場	平成3	S	2	629	新耐震建築物			○	
8	大石南中学校	47 管理・普通・特別教室棟	北校舎	昭和51	RC	4	4,039	改修済			○	平成22
		48 特別教室棟	金工・木工室	昭和51	RC	4	1,199	改修済			○	平成22
		49 普通教室棟	南校舎(東)	昭和52	RC	4	1,145	改修済			○	平成23
		50 普通教室棟	南校舎(西)	昭和56	RC	4	1,473	新耐震建築物			○	
		51 屋内運動場棟		昭和51	RC	1	788	改修済			○	平成25
		52 格技場棟	格技場	平成2	S	1	459	新耐震建築物			○	
9	瓦葺中学校	53 管理・特別・普通教室棟	校舎棟	昭和51	RC	4	3,961	改修済			○	平成21
		54 特別教室棟	木工・美術室	昭和51	S	1	255	改修済			○	平成24
		55 屋内運動場棟		昭和51	RC	1	789	改修済			○	平成25
		56 格技場棟	格技場	平成2	S	1	459	新耐震建築物			○	
10	南中学校	57 管理・普通教室棟	校舎棟(中)	昭和53・56	RC	4	1,752	改修済			○	平成24
		58 普通・特別教室棟	校舎棟(東)	昭和53	RC	4	2,872	改修済			○	平成24
		59 普通教室棟	校舎棟(西)	昭和56	RC	4	487	改修済			○	平成24
		60 屋内運動場棟		昭和53	RC	2	840	改修済			○	平成25
		61 格技場棟	格技場	平成2	S	2	552	新耐震建築物			○	
11	大谷中学校	62 管理・普通教室棟	南校舎	昭和59	RC	3	2,991	新耐震建築物			○	
		63 特別教室棟	西校舎	昭和59	RC	4	1,717	新耐震建築物			○	
		64 屋内運動場棟		昭和59	RC	4	1,364	新耐震建築物			○	
		65 体育舎、倉庫、部室		昭和60	RC	2	247	新耐震建築物			○	
		66 格技場棟	格技場	平成3	S	1	478	新耐震建築物			○	

瓦葺中学校は
H21・24・25年度
に耐震補強を実施

1. 現状と課題（（2）学校施設）



子供たちの安全・安心のために

耐震補強

平成29年度完了

子供たちの快適な環境整備

トイレの
リニューアル
平成28年度完了



1. 現状と課題（（2）学校施設）

子供たちの快適な環境整備

全普通教室へのエアコン設置

平成23～27年度完了



音楽室へのエアコン設置

平成31年度設置完了



小中学校の体育館への

エアコン設置

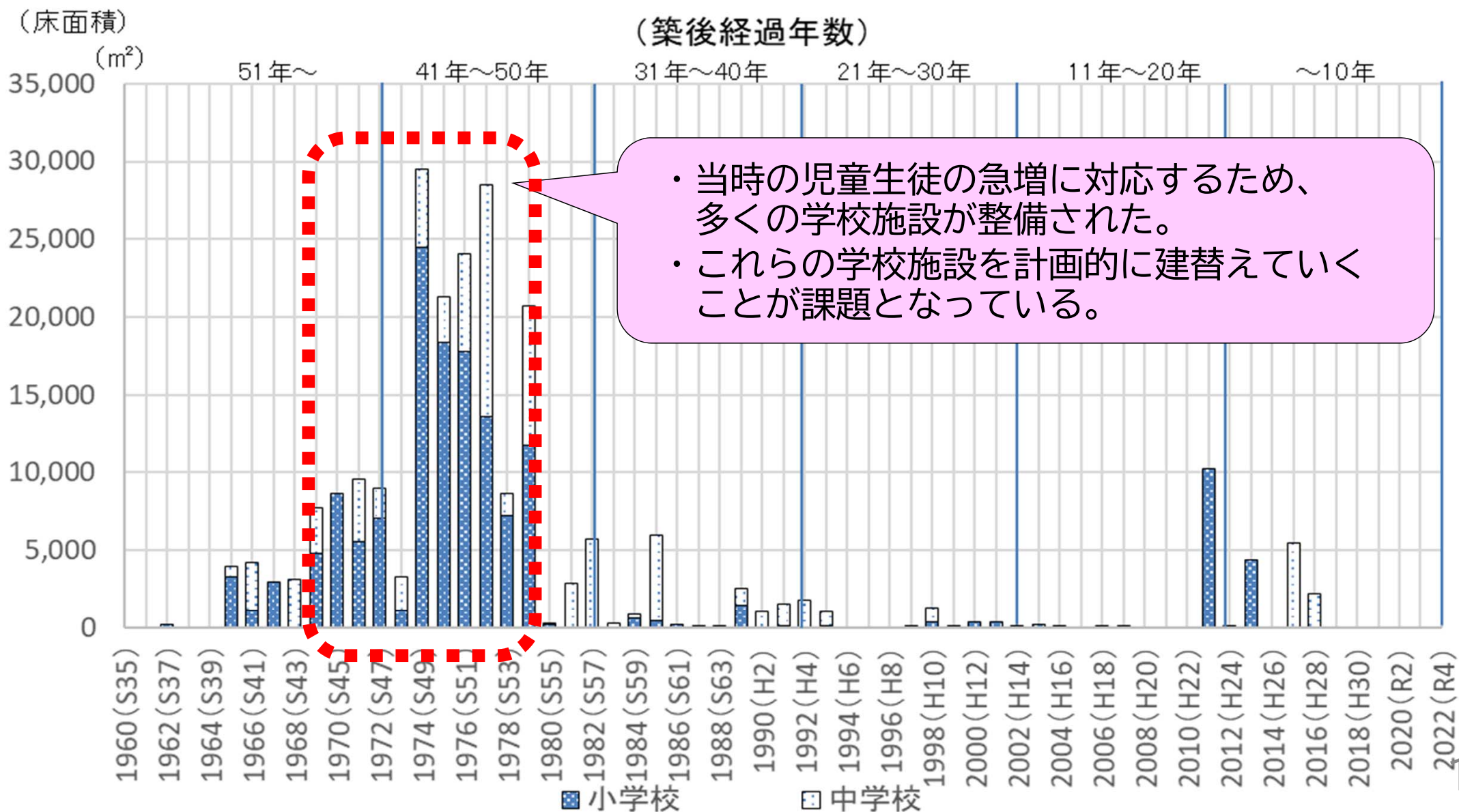
令和4年度完了予定

(R3:瓦葺中、R4:瓦葺小、尾山台小、原市南小)



1. 現状と課題（（2）学校施設）

- 小中学校の多くは1970年代に整備されており、築後40年以上が経過し老朽化が進行
- これらの学校施設は建替え等が集中的に発生することが見込まれ、費用等の平準化が必要



1. 現状と課題（（2）学校施設）



尾山台小学校

築47年
(1974年建設)



瓦葺小学校

築55年
(1966年建設)



原市南小学校

築46年
(1975年建設)

2. 現行の上尾市学校施設更新計画 について

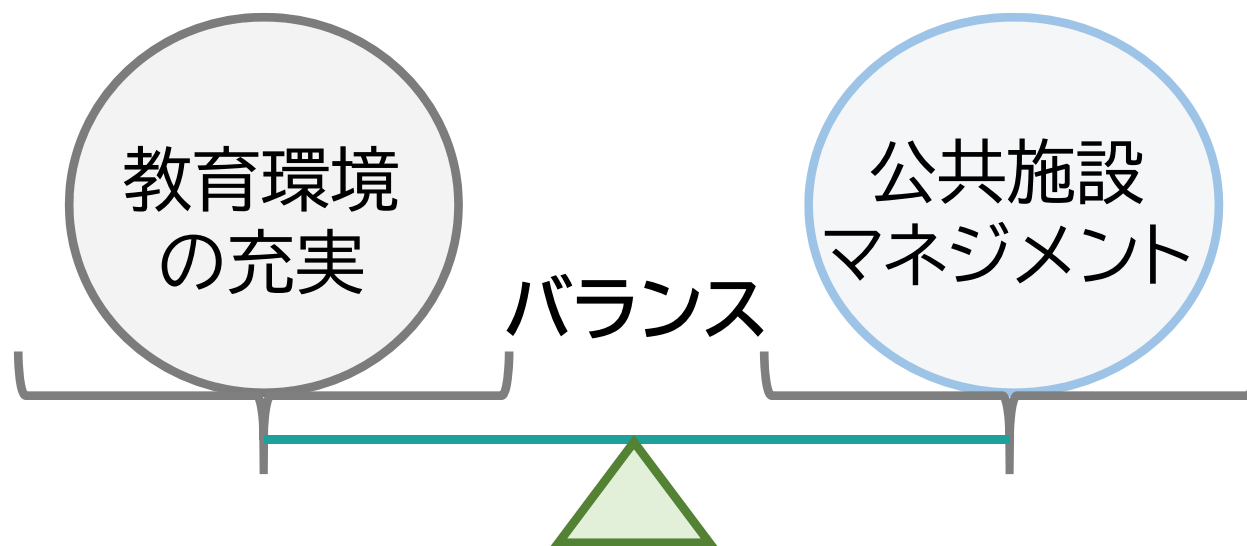
2. 現行の上尾市学校施設更新計画について

計画の目的

持続可能な教育環境づくり

- 1) 適正な学校規模づくり
- 2) 利用しやすい教育環境整備の推進
- 3) 施設の健全化と複合化

計画の目標



計画期間

令和3年～令和37年(2055年)

2. 現行の上尾市学校施設更新計画について

■基本計画 令和3年5月策定

■基本計画地域説明会 令和3年7月

地区	開催日	回数
上尾地区	7月3日	3回
平方地区	7月10日	2回
原市地区	7月11日	2回
大石地区	7月18日	2回
上平地区	7月17日	2回
大谷地区	7月25日	2回
尾山台団地、原市団地	7月11日	1回
西上尾第一団地	7月31日	1回
	合計	15回

主な意見

- (1)学校規模が大きくなりすぎる
- (2)通学距離が遠くなる
- (3)地域住民の意見を聞いていない
- (4)コストありきの再編(案)である

※西上尾第二団地については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け11月に開催
また、畔吉地区においても11月に開催

2. 現行の上尾市学校施設更新計画について

■基本計画 令和3年5月策定

■上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会 令和3年6月設置

	開催日	内容
第1回	7月13日	今後の進め方
第2回	8月23日	地域説明会の結果及び今後のスケジュール
第3回	10月7日	学校施設更新計画と公共施設マネジメントの関連性について
第4回	10月12日	上尾市の教育の方向性について
第5回	11月8日	学校施設計画に関連する諸課題について
第6回	11月22日	上尾市学校施設更新計画基本計画の見直しの対する提言(案)
第7回	1月17日	第6回時の提言修正(案)

地域説明での意見を踏まえ
計画見直しを決定

令和3年9月 議会

**経費35%削減の枠にと
らわれない**

**学校再編案は
ゼロベースで見直す**

※ 全7回の委員会を経て、**令和4年1月17日上尾市長宛「提言書」の提出**

■提言書の項目

(1)公共施設マネジメントの目標値について
(2)教育的観点について

(3)特別委員会の意見について
(4)市民及び議会への報告について

2. 現行の上尾市学校施設更新計画について

上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会の提言

(1) 公共施設マネジメントの目標値について

- ① 経費35%削減の枠にとらわれず再検討すること
- ② 長寿命化について改めて検討を行うこと

(2) 教育的観点について

- ① 教育的観点到主眼を置いた基本計画に見直すこと
- ② 教育委員会は、教育的観点から独立性を発揮して議論を行うこと

(3) 特別委員会の意見について

- ① 特別委員会の意見を精査し、基本計画の策定に反映しない場合にはその理由を議会に対し報告すること
- ② 特別委員会において見直すべきとの指摘があった事項については、見直しも含めた再検討を行うこと
- ③ 将来人口推計と児童生徒数については、各種計画に示した将来展望人口との整合を図ること

(4) 市民及び議会への報告について

- ① 議会の求めに応じ報告を行い、地域説明会等を開催し、市民の意見を聴取すること
- ② 市民に対して偏りなく幅広く周知を行い、市民の意見を踏まえた見直しを行うこと

3. 学校教育に関する国の方向性

3. 学校教育に関する国の方向性

最近の国(文部科学省)の動向

①G I G Aスクール構想（令和2年～）

- ・ **1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備**することで、特別な支援を必要とする子供を含め、**多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現**する

②令和の日本型学校教育の構築を目指して（令和3年1月）

- ・ 令和3年1月に「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現（答申）」を公表し、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿を提示
- ・ **学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**

③35人学級の実施（令和3年4月～）

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを実現することが必要であることから、**一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と安全安心な教育環境を整備するため、公立小学校の学級編成の標準を段階的に引き下げ**

「GIGAスクール構想」

GIGAスクール構想が目指す学びのDX
 ～1人1台端末・高速大容量ネットワークが広げる学びの可能性～

中山間地域の学校における
遠隔授業の活用



端末を「文房具」としてフル活用した
学校教育活動の展開

- 学習の基盤となる情報活用能力の育成
- 動画や音声も活用し、児童生徒の興味を喚起、理解促進
- 情報の収集・分析、まとめ・表現などによる探究的な学習の効果的な推進
- 障害のある児童生徒の障害の特性に応じたきめ細かな指導・支援の充実など多様なニーズへの対応
- 板書や採点・集計の効率化等を通じた学校の働き方改革

不登校児童生徒に対する
学習指導



海外の学校との交流学习



学習者用デジタル教科書の活用



病気療養児に対する学習指導



大学や企業等と連携した学習



様々なデジタル教材の活用



学習履歴等を活用したきめ細かい
指導の充実や学習の改善



臨時休業時における
オンラインを含む家庭学習



地域の機関や外部人材と
連携した学習



発達段階に応じて遠隔・オンライン教育も積極的に活用
**全ての子どもたちの可能性を引き出す、
 個別最適な学びと、協働的な学びを実現**

参考 12/92

3. 学校教育に関する国の方向性

出典 文部科学省HP

「令和の日本型学校教育の構築を目指して」(中央教育審議会答申) ～ 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現 ～

2020年代を通じて実現を目指す学校教育
「令和の日本型学校教育」の姿

B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C3 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

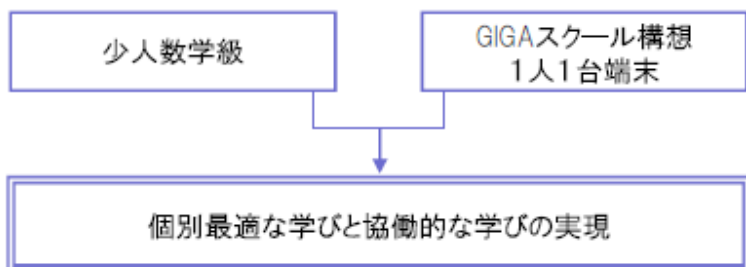
「35人学級の実施(令和7年度まで段階的移行)」

公立義務教育諸学校の学級編成及び教員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律の概要

1. 趣旨

Society5.0時代の到来や子供たちの多様化の一層の進展等の状況も踏まえ、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育へ転換し、個別最適な学びと協働的な学びを実現することが必要であることから、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と安全・安心な教育環境を整備するために公立の小学校※の学級編成の標準を段階的に引き下げる。

【少人数学級とICT活用を両輪とした新時代の学び】



【個別最適な学びと協働的な学び】

2. 概要

(1) 学級編成の標準の引下げ

小学校の学級編成の標準を40人(第1学年は35人)から35人に引き下げる。

(2) 少人数学級の計画的な整備(経過措置規定)

令和7年3月31日までの間における学級編成の標準については、児童の数の推移等を考慮し、第2学年から第6学年まで段階的に35人とするを旨として、毎年度政令で定める学年及び文部科学大臣が定める特別の事情がある小学校にあっては、40人とする。

【学級編成の標準の引下げに係る計画】

i. 上記(2)について、下表のとおり、小学校第2学年から学年進行により段階的に学級編成の標準を引き下げる。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
学年	小2	小3	小4	小5	小6

ii. 計画の実施に当たり、学級数の増加に伴い教室不足が生じ、施設整備に一定期間を要するなど、特別の事情がある場合には、各地事情に応じて対応できるよう措置する。

学級編成の標準の引下げが教育活動に与える効果に関する実証的な研究や、教員免許制度等それらの結果に基づいて必要な法制上の措置

小学校1～3年生：35人学級
小学校4～6年生：40人学級
 (令和4年度時点)

養子ひ

※義務教育学校の前期課程を含む。

3. 施行期日

令和3年4月1日

4. 上尾市の取組「あげお学びのイノベーション」推進プラン



令和3年度より児童生徒1人1台端末を活用した授業を開始



保護者用リーフレットを毎月発行

令和4年度 あげお学びのイノベーション News

上尾市は、文部科学省が発表したGIGAスクール構想により、今年度の授業で児童生徒1人1台端末で「新たな学び」を創り出す「あげお学びのイノベーション」に取り組んでいます！

子供たちの情報活用能力を育成する - ICT活用等の効果的な活用を通して -

子供たちが、変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくためには、様々な情報を適切に活用できる力（情報活用能力）を身に付けることが不可欠です。
上尾市では、現在、ICT端末を活用した様々な授業等をおとして、子供たちの「情報活用能力」を育んでいます。
今号では、学校教育の中で子供たちに育んでいる情報活用能力について紹介します。

「情報活用能力」とは？

「学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力」のことです。

※出典：学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編

★子供たちに身に付けさせたい情報活用能力として、次のような資質・能力があります。

- 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
- 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解
- 問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考 等を含む） など

学習の基礎となる資質・能力としての情報活用能力の育成（文部科学省） ★ぜひこちらの資料もお読みください

☆どの資質・能力も、子供たちが情報や情報技術を活用していくときに必要な力です。

皆さんの学習で情報活用能力を育みます！

【学習の例】

- ①「情報技術に関する技能」について
 - ・インターネット上の情報の閲覧・検索
 - ・キーボードによる文字入力 など
 - ・目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 など
- ②「情報の収集・整理・分析・表現・発信の理解」について
 - ・プレゼンテーションによる発信 など
- ③「情報モラル・情報セキュリティの理解」について
 - ・コンピュータなどを利用するときの基本的なルールについての学習 など

ICTを使用しなくても、情報活用能力の育成につながる学習があります。

【例】取付した情報を整理して、自分の考えが伝わるように内容をまとめる学習 など

様々な学習場面で、情報活用能力に關わる資質・能力を育みます。

「クラウド・1人1台端末を活かした情報活用能力の育成」(Google for Education) ★ぜひこちらの動画もご覧ください

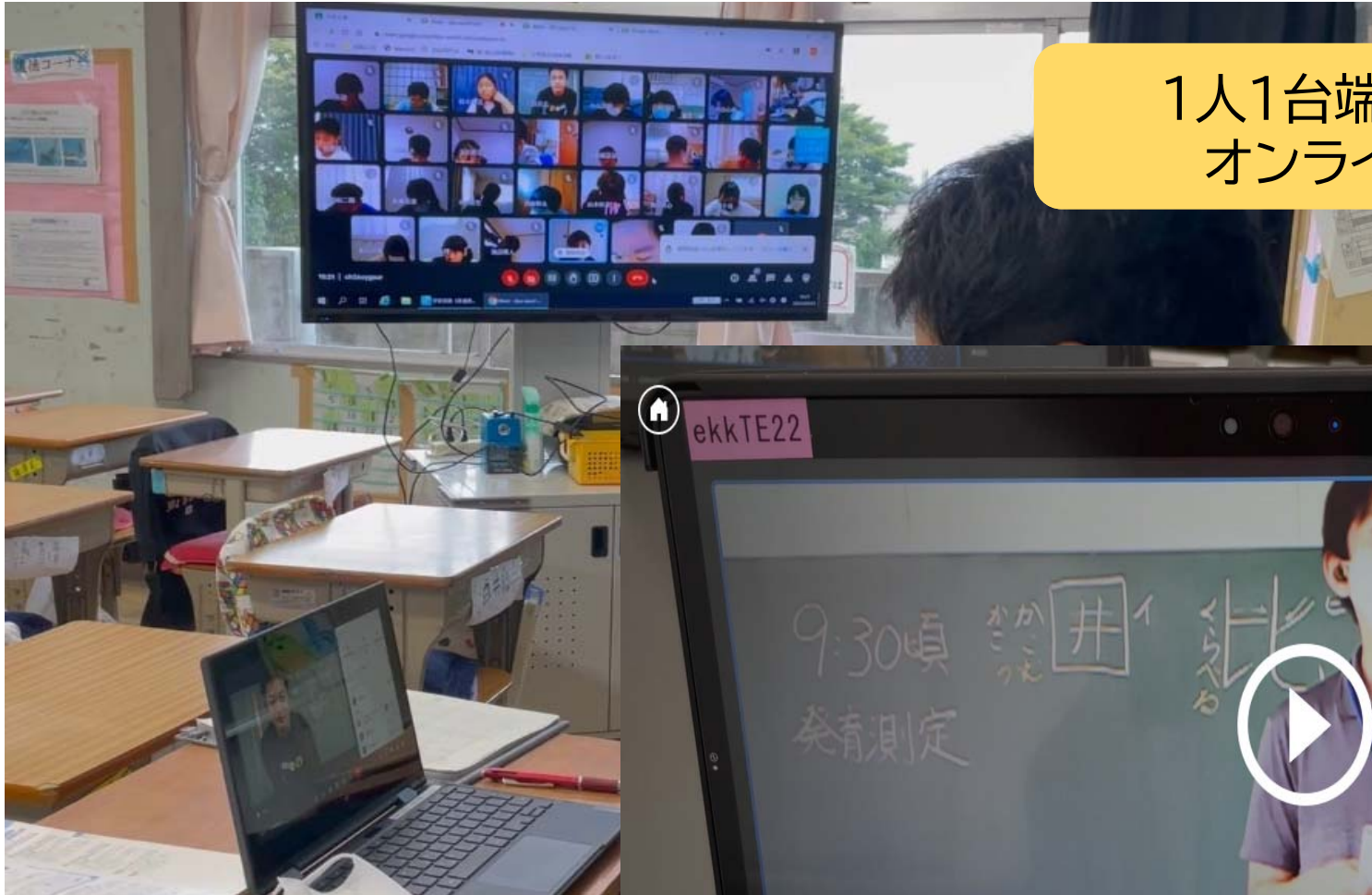
一 夢を育み 未来を創る 上尾の教育 一
上尾市教育委員会

令和4年度

あげお 学びのイノベーション

上尾市は、GIGAスクール構想により
今までの教育実践×最先端のICTで
新たな学びを創り出します！

4. 上尾市の取組「あげお学びのイノベーション」推進プラン



1人1台端末等を活用した
オンライン学習の実施



新型コロナウイルス感染症に係り
登校できない児童生徒への授業の配信

4. 上尾市の取組「世界にはばたく かがやキッズ 上尾市英語力向上プラン」



オンラインによる
オーストラリア・ロッキヤー高校との交流



Ⅲ 資料編 1 英語力向上プラン

世界にはばたく かがやキッズ 上尾市英語力向上プラン ～進んで英語を話せる上尾の子を育てる～

「進んで英語を話せる上尾の子を育てる」ことを目指して、英語力向上プランを推進します。

小学校1・2年生からALTを活用した英語活動、3・4年生では英語に慣れ親しむ外国語活動、小学校5年生からコミュニケーションの基礎を身に付ける外国語科の授業、中学校では、4技能をバランスよく育成するための外国語科の授業を通して、9年間を見通した英語教育を推進します。

9年間を見通した英語教育			
【英語活動・外国語活動・外国語科 年間授業時数】			
小1年生 3.4時間 小2年生 3.5時間	小3・4年生 3.5時間	小5・6年生 7.0時間	中1～3年生 14.0時間
英語や外国の文化に触れ、慣れ親しむ活動を通して、コミュニケーションを図ることを楽しむ態度を育成	「聞くこと」「話すこと」の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動を通して、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成	4技能の言語活動を通して、豊かな情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成
小学校2.2校 ALT 2.5名配置 外国語の全授業を担当とALTのチーム・ティーチングで実施			中学校1.1校 ALT 1.1名配置

【日常的に英語に慣れ親しむ環境づくり】
「英語シャトル」の時間等に児童とALTが自由に会話をする時間を設定し、英語を話す楽しさを実感させる。

【その他の活用】
ALTアシスト授業として、英語活動・外国語活動・外国語科の時間以外の授業にALTが入り、児童が英語や外国の文化に触れる機会をつくる他、クラブ、委員会、給食、清掃等の時間にも、ALTを積極的に活用し、児童生徒が生きた英語に触れる機会を増やす。

【教育課程特例校】
上尾市では、文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、令和2年4月から市内全小学校で、生活科の一部に代わって1年生年間3.4時間、2年生3.5時間の英語活動を実施。

「英語活動」では、児童に「生きた英語」を学ぶ環境を整備すること、及び「話すこと」を中心としたコミュニケーションを図ることを楽しむ態度を育成。小学校1・2年生における英語教育は、県内でも他市町村に先んじた上尾市独自の取組である。

1年生 1- (1) はじめまして 1時間	ALT: Hello, my name is... ALT: How are you? ALT: What day is today? ALT: How is the weather?	児童: Hello, my name is... 児童: I'm good. 児童: It's Monday. 児童: It's sunny.
-----------------------	---	--

(教材例)

(学習指導案例)

<p>市教委主催事業 英語弁論大会</p> <p>対象：中学校1～3年生 場所：上尾市内</p>	<p>ロッキヤー高校との オンライン交流</p> <p>対象：中学校1～3年生 場所：上尾市内</p>	<p>教員研修 外国語指導力向上研修会</p> <p>対象：小学校全教員 実施：各小学校を会場に2回</p>	<p>外国語科研修会</p> <p>対象：小・中外国語担当教員 実施：小・中別に夏季休業中に1回</p>
---	--	---	---

4. 上尾市の取組「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」

夢を育み 未来を創る 上尾の教育

第3期上尾市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）

3つの基本方針
 生きる力を育む 絆を育む 学ぶ喜びを育む

10の基本目標

I 確かな学力の育成 II 豊かな心の育成 III 健やかな体の育成 IV 自立する力の育成
 V 多様なニーズに対応した教育の推進 VI 質の高い学校教育のための環境の充実 VII 家庭・地域の教育力の向上
 VIII 生涯にわたる学びの推進 IX 文化芸術の振興 X 健康で活気に満ちたスポーツ活動の推進

ICT教育の推進（あけお学びのイノベーション）

- 高速通信ネットワークの整備・1人1台の学習用端末
 - ・文具のツールとしての利用
 - ・授業支援システムによる協働的な学び
 - ・オンラインドリルによる個別最適な学び
- ICT機器を使用した新たな授業の創造
- 教職員のICT活用研修の充実

生徒指導の充実

- 生徒指導体制の充実
 - ・教職員が連携して児童生徒一人一人を指導・援助
- 総合的な不登校対策の推進
 - ・スクールソーシャルワーカーによるアウトリーチ支援やオンライン相談
- いじめ・暴力行為防止対策の推進
 - ・定期的なアンケートや面談の実施によるいじめの積極的な認知と早期対応
 - ・ネットいじめやネットトラブルの未然防止
 - ・いじめ相談専用の電話や電子メールなどによる相談窓口の充実
- 非行・問題行動防止対策の推進
 - ・各中学校区生徒指導連絡協議会を中心とした取組

確かな学力の育成 創意工夫を生かした教育指導の実施 小中一貫に向けた教育の推進

グローバル化に対応する教育の推進

- 外国語教育の推進
 - ・ALTと連携した効果的な授業の充実
 - ・小・中9年間を見通した外国語教育の推進
 - ・市内全小学校1・2年生で「英語活動」実施（教育課程特例校指定）
 - ・小・中学校・学校・上平
- 持続可能な教育の推進
 - ・総合的な学習の時間等の実施
 - ・SDGs（持続可能な学習の時間等の実施）

豊かな心の育成 豊かな心を育む教育の推進 人権教育の推進

学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実

- コミュニティ・スクールの充実

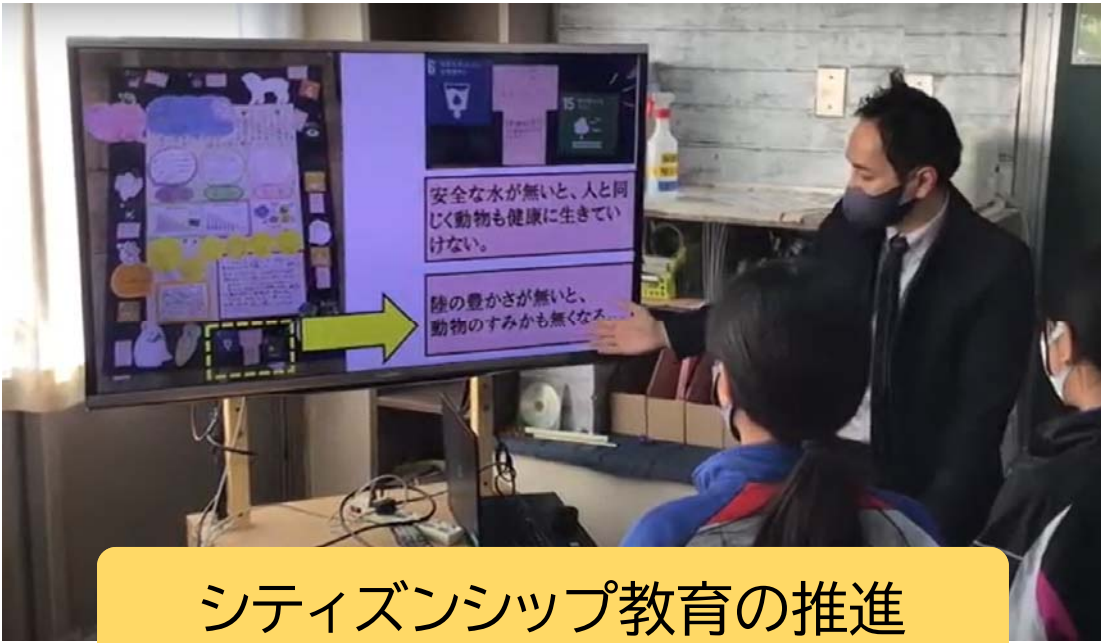
多様なニーズに対応した教育の推進 特別支援教育の推進 学校教育相談の充実 就学支援の充実

幼児教育の推進 指導など様々な活動を促進

- 幼児教育推進協議会の推進
- 幼・保・小連携共同研修会の充実

家庭・地域の教育力の向上 家庭教育の充実

上尾市教育委員会



シティズンシップ教育の推進



いじめ根絶対策事業 子供すこやかシンポジウム

5. 学校施設に関する国の方向性

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】

1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、新しい時代の学校施設の在り方を議論

第1章 新しい時代の学びの姿

(1) 社会情勢の変化

- ⇒社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」の到来
- ⇒新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

(2) 「令和の日本型学校教育」の姿

- ⇒中央教育審議会において、新しい時代の初等中等教育の在り方を検討
- ⇒教育再生実行会議において、ポストコロナ期における新たな学びの在り方を検討

学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(3) 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性

- ・新学習指導要領の着実な実施
- ・9年間を見通した義務教育の在り方
- ・学校における働き方改革の推進
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・GIGAスクール構想、ICTの活用
- ・多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応
- ・少人数による指導体制の整備

第2章 学校施設の課題

(1) 新しい時代の学びへの対応の必要性

- ポストコロナ時代における学校施設という実空間の役割
 - ⇒児童生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能、社会性・人間性を育む社会的機能を有するなどの学校の持つ役割・在り方を再認識
 - ⇒ポストコロナ時代において、子供たちがともに集い、学び、遊び、生活する学校施設という実空間の価値を捉え直す必要
- 学びのスタイルの変容への対応
 - ⇒ICTの活用などにより、学級単位で一つの空間で一斉に黒板を向いて授業を受けるスタイルだけでなく、学びのスタイルが多様に変容していく可能性が拡大
 - ⇒空間・時間を超えて、様々な学習リソースに非同期にアクセスして学ぶことができるなど「非同期・分散」した学びのスタイルが広がり、これまでの「同期・集合」した学びのスタイルと往還する場面が展開されていく可能性も拡大

(2) ~ (4) 学校施設等における現状と課題

- ・これまでの学校施設の計画、教室面積、多目的スペース、空調設備の整備状況 等
- ・防災・減災、国土強靱化、耐震対策・老朽化した施設の実態、維持管理 等
- ・国・地方の財政状況、適正規模・適正配置等の実態、複合化・集約化の状況 等

第3章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）

Schools for the Future

「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

「未来思考」の視点

- ① 学校は、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる。
- ② 教室環境について、単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）をもつ。
- ③ 紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）をもつ。
- ④ どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する。

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方(5つの姿の方向性)

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現

- ⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

(教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例)



1人1台端末環境等に対応したゆとり
のある教室の整備

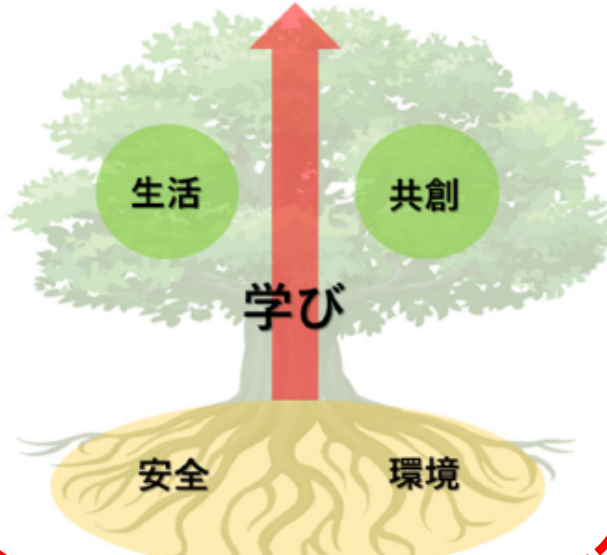


多目的スペースの活用による多様な
学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等
による教室空間の有効活用

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『学び』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『生活』『共創』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『安全』『環境』の確保を実現する。

学び

生活

共創

安全

環境

新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現

- ⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現

- ⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

子どもたちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現

- ⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

- ⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

6. 上尾市学校施設更新計画の 見直しの方角性

6. 上尾市学校施設更新計画の見直しの方向性

上尾市学校施設更新計画の方向性(素案) ～ 新しい時代の学びに相応しい学校づくり ～

安全・安心な学校

- ・長寿命化改修・改築により、安全安心な教育環境を確保
- ・避難所として学校施設を開放(体育館にエアコンを設置)

新しい学びに対応した学校

- ・GIGAスクール構想の実現(1人1台端末やICT環境の整備)
- ・最新の教育設備を備えた新しい学校へ改築

地域に開かれた学校

- ・公共施設の複合化
- ・体育館や校庭を地域住民・地域団体へ開放

快適な学校

- ・環境配慮した省エネルギー化
- ・高齢者や障がい者にも配慮した学校のバリアフリー化を推進

新しい時代の学びに相応しい 魅力ある学校を整備
子供たちのために「より良い教育環境」を実現

寄与

市の
シティセールス
人口増加施策

6. 上尾市学校施設更新計画の見直しの方向性

今後の検討課題

長寿命化

- ・ 躯体健全性調査により健全性・安全性が確認された学校施設は長寿命化を検討

学校再編

- ・ 市民アンケート結果等を踏まえ検討

人口推計

- ・ 最新の人口データをもとに児童生徒の推計を実施し、社会保障人口問題研究所の高位・中位・低位推計を参考に3種類の推計を実施

計画の改定期間

- ・ 現行計画では定期的な計画改定がないため、改定期間を検討

教育的観点

- ・ 最新の学校教育の動向や学校施設の更新で目指す新たな教育環境など、教育的観点を主眼に置き教育委員会で検討

7. 今後の見直しスケジュール

7. 今後の見直しスケジュール

		令和4年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	更新計画の見直し	→						素案	→			パブコメ案	→		最終案	改定
2	意見聴取															
	・アンケート 18歳以上無作為抽出 未就学児保護者無作為抽出					依頼	回答	集計・分析・まとめ		報告書						
	・Webアンケート 児童生徒、小中学校保護者、教員															
	・基調講演会 2回															
	・ワークショップ 6箇所計12回								→							
	・公聴会 6箇所計6回										→					
	・説明動画											●				
	・パブリックコメント											→		●	まとめ	

○意見聴取(市民アンケート、基調講演会、ワークショップ、公聴会、パブコメ等)

3	庁内検討委員会		●		●		●			●	●		●
4	教育委員会						協議			協議		協議	議案
5	議会			報告			報告			報告			報告
6	市自治会連合会、市PTA連合会など		報告	← 適宜 報告 →									

○庁内検討委員会による検討、及び、教育委員会や議会、自治会連合会などに報告

○7～8月に耐用年に迫る建物(12棟)の躯体の健全性調査を実施

⇒ 長寿命化改修等の検討

7. 今後の見直しスケジュール

6月末

- 子供たちのための新しい学校づくりに関するアンケート
- 郵送アンケート 18歳以上の市民、未就学児保護者
- WEBアンケート 児童（5・6年生）生徒、児童生徒の保護者、教員

市民アンケート
の意見を反映

9月頃

- 上尾市学校施設更新計画 改定（素案）

10～11月

- ワークショップや基調講演会による意見聴取

ワークショップ
や基調講演会
の意見を反映

12月頃

- 上尾市学校施設更新計画 改定（案）

12～1月

- 公聴会、パブリックコメントによる意見聴取

公聴会やパブ
リックコメント
の意見を反映

3月頃

- 上尾市学校施設更新計画 改定（最終案）

新しい時代の学びに相応しい学校づくり ～ 子供たちのために ～

地域

行政

子供たちの
のために

学校

保護者

新しい時代の学びに相応しい魅力ある学校を整備し、子供たちのために「より良い教育環境」を実現